

習志野市光輝く高齢者未来計画2024(高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画) における実績評価について

1. 計画の概要

◎高齢者保健福祉計画

老人福祉法第20条の8に基づき、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の供給体制の確保に関して市が定める計画。

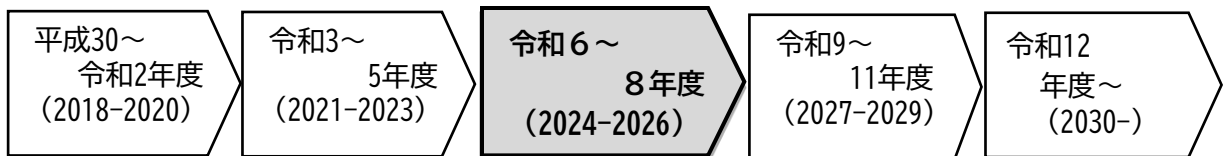
◎介護保険事業計画

介護保険法第117条に基づき、市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関して市が定める計画。

⇒2つの計画は、一体のものとして作成するよう定められている。

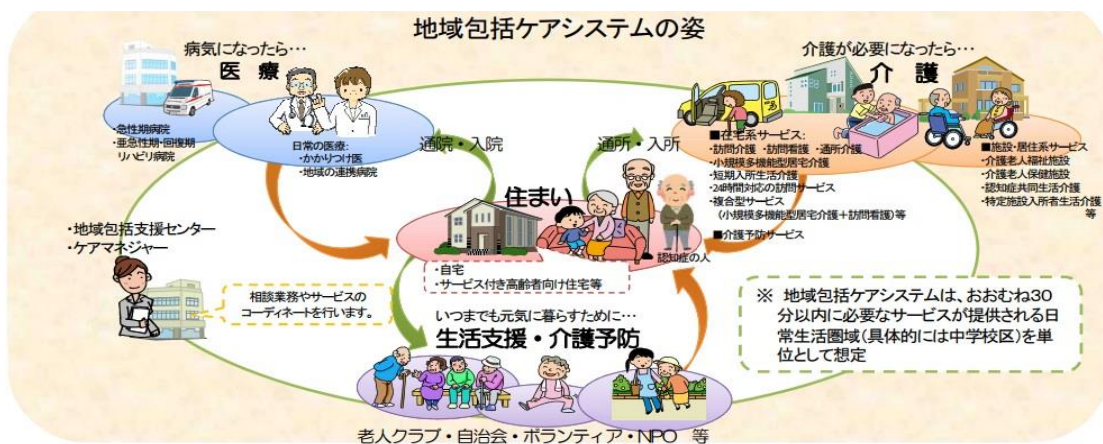
◆計画期間

第7期計画 第8期計画 第9期(本計画) 第10期計画 第11期計画～



◆基本理念

「住み慣れた地域で、健やかに暮らし、やさしさで支え合うまち」



◆基本目標

基本目標1)自分に合った生活場所と介護サービスの充実

基本目標2)安定した日常生活のサポート

基本目標3)いつまでも元気に暮らせる健康づくり

基本目標4)地域で支え合う仕組みの拡大

2. 評価結果の全体総括

計画に設定された 60 の個別目標について、令和6年度・令和7年度の実績評価結果を比較すると、両年度とも約 8割の指標で目標を達成(◎または○)しており、着実に施策が進捗しています。特に「◎(目標達成)」の件数は、R6 の 41 件から R7 は 44 件に増加しました。

年度	指標数	◎ 目標達成	○ 概ね達成	△ 一部達成	× 未達成	達成率(◎＋○)
令和6年度	60	41 件	6 件	9 件	4 件	78.3%
令和7年度	60	44 件	5 件	6 件	5 件	81.7%

基本目標別の状況

基本目標	指標数	R6 達成率(◎＋○)	R7 達成率(◎＋○)	R6 → R7 の傾向
基本目標1 自分に合った生活場所と介護サービスの充実	15 件	86.7%	93.3%	改善(+6.6pt)
基本目標2 安定した日常生活のサポート	9 件	77.8%	77.8%	横ばい
基本目標3 いつまでも元気に暮らせる健康づくり	13 件	92.3%	92.3%	横ばい
基本目標4 地域で支え合う仕組みの拡大	23 件	65.2%	69.6%	改善(+4.4pt)

3. 基本目標ごとの成果と課題

基本目標1 自分に合った生活場所と介護サービスの充実

年度	◎	○	△	×
R6	12	1	2	0
R7	13	1	1	0

<主な成果>

- ・特別養護老人ホームの新規整備(100床)は事業者選定が完了し、令和8年度開設に向け整備が進行中。
- ・介護サービスの質の確保(実地指導、集団指導、介護サービス相談員派遣等)や介護給付の適正化に関する指標は、ほぼ全項目で目標を達成。

<主な課題>

- ・認知症高齢者グループホーム(定員36人分の新規整備)は、複数回の公募にもかかわらず応募事業者が現れず、2年連続で「△」評価。市内の整備用地確保や介護人材不足が背景にある。

基本目標2 安定した日常生活のサポート

年度	◎	○	△	×
R6	7	0	1	1
R7	6	1	0	2

<主な成果>

- ・認知症初期集中支援チームの支援対応(医療・介護サービスへの接続率)、高齢者見守り(SOS ネットワーク)、高齢者の権利擁護(虐待防止啓発、消費者被害情報提供)は、いずれも高い水準で目標を達成。

<主な課題>

- ・多様な主体によるサービスの担い手養成講座修了者と事業者等とのマッチング機会の確保は、R6「△」から R7「×」へと悪化。
- ・成年後見センターによる法人後見の新規受任件数は2年連続で目標未達(×)。相談内容の複雑化が要因の一つ。

基本目標3 いつまでも元気に暮らせる健康づくり

年度	◎	○	△	×
R6	11	1	1	0
R7	12	0	1	0

<主な成果>

- ・健康教育の実施、特定健康診査・後期高齢者健康診査の受診率、介護予防教室の参加者数・効果(運動習慣化、生活機能維持・向上)など、健康づくり関連の指標はほぼ全て目標を達成し、R7 はさらに改善。

<主な課題>

- ・地域運動習慣自主化事業(まちでフィットネス)の立ち上げ支援団体数は目標には届かず「△」。

基本目標4 地域で支え合う仕組みの拡大

年度	◎	○	△	×
R6	11	4	5	3
R7	13	3	4	3

＜主な成果＞

- 地域テラス、地域ケア会議、認知症サポーター養成、高齢者見守りネットワーク、地域サロン設置など、地域づくりの多くの指標で目標を達成し、R7はR6より改善傾向。
- 地域ケア個別会議のケアマネジャー参加率はR6「△」からR7「◎」へ大きく改善。

＜主な課題＞

- 住民主体による通所型・訪問型サービスを提供する団体の創出は「○団体」(×)にとどまり、住民の担い手不足・活動負担の大きさが課題。
- シルバー人材センター会員登録数、老人クラブ(あじさいクラブ)の会員数・大会参加者数、スポーツ奨励大会参加者数は、2年連続で「△」。高齢者の社会参加活動の担い手・参加者の確保が共通課題。

4. 全体を通じた共通課題

基本目標を横断して、令和6年度・令和7年度の両年度にわたり「△」または「×」評価が続いた指標には、次のような傾向が見られます。

(1) 担い手・参加者の確保に関する課題

- 住民主体による通所型・訪問型サービスの創出(4-1)、地域運動習慣自主化事業(まちでフィットネス)の立ち上げ支援(3-2)、シルバー人材センターや老人クラブ(あじさいクラブ)の会員数(4-2)など、住民が主体となって担う活動の「担い手」や「参加者」の確保が、複数の施策分野で共通する課題となっています。

(2) 事業者の参入が進みにくい整備系の指標

- 認知症高齢者グループホームの新規整備(1-1)は、複数回の公募を行ったものの、市内の整備用地の確保や介護人材不足を背景に事業者の応募に至らず、2年連続で目標未達成となっています。

(3) 改善が見られた指標

- 認定調査員現任者研修の参加者数(1-4)はR6「△」からR7「○」に改善しました。
- 地域ケア個別会議における「介護予防自立支援検討会議」のケアマネジャー参加率(4-1)は、R6「△」からR7「◎」へ大きく改善しました。

5. 「×(未達成)」となった指標と理由

60 の個別目標のうち、令和6年度・令和7年度のいずれかで「×(未達成)」評価となった指標は 5 件です。該当する指標と、未達成となった主な理由は次のとおりです。

該当施策・指標	R6	R7	未達成となった主な理由
2－1 介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業) 多様なサービスの担い手(養成講座修了者と事業者のマッチング)	△	×	シニアサポーター養成講座を実施しなかったため、修了者と事業者とのマッチングの機会自体が生じなかった。介護予防・生活支援サービス総合事業※は介護サービスに比べ報酬単価が低く、事業者側の受け入れ意欲も低い。 ※介護予防訪問型・介護予防通所型サービス、介護予防ケアマネジメント
2－6 高齢者の権利擁護 成年後見センターによる法人後見の新規受任件数	×	×	【R6】成年後見センターに寄せられる相談は複雑な問題を抱えるケースが多く対応に時間を要し、法人後見の新規受任には至らなかった(新規受任 0 件)。 【R7】相談内容の複雑化は継続。下半期に新規 1 件の受任手続きを進めている段階で、年度内の実績としては目標に届かなかった。
4－1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大 住民主体による通所型サービスを提供する団体数	×	×	【R6】住民が主体となって運営する通所型サービスの創出には至らず、団体数は 0 団体にとどまった。 【R7】R6 と同様、住民主体による通所型サービスの創出には至らず、団体数は 0 団体で推移した。
4－1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大 住民主体による訪問型サービスを提供する団体数	×	×	【R6】住民が主体となって活動するには負担感が大きく、運営体制の構築に課題があり、訪問型サービスの創出には至らなかった(0 団体)。 【R7】R6 と同様の課題が継続し、訪問型サービスを提供する住民主体団体は 0 団体にとどまった。
4－1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大 地域ケア個別会議のうち「介護予防自立支援検討会議」の開催数	×	×	【R6】高齢者相談センターの負担軽減のため、開催方法を年 1 回の 5 圏域合同開催に変更したことにより、目標としていた開催回数を下回った。 【R7】R6 に続き 5 圏域合同・年 1 回開催の体制を維持したため、開催回数目標値には届かなかった。事例選出や地域課題抽出への意識の希薄化も課題として挙げられている。

未達成の理由に共通する傾向として、「住民主体による活動の創出(4－1の2指標)」は、住民の負担感の大きさや運営体制の構築の難しさが要因となっています。「多様なサービスの担い手のマッチング(2－1)」「成年後見の法人受任(2－6)」は、対象者側の意向や相談内容の複雑化など、市の取り組みだけでは短期間での改善が難しい構造的な要因が背景にあります。「地域ケア個別会議(4－1)」は、会議運営の効率化(負担軽減)を優先した結果、開催回数の目標値を下回ったものであり、質的な充実は図られています。

6. 第10期計画に向けて

住民主体の活動の担い手確保や、施設整備における事業者参入の促進など、構造的な課題については継続的なものとなっています。また、介護人材不足、介護人材の高齢化など近年顕著な事象の影響によって、利用を希望する方すべてにサービス提供が行き届かない事態には陥らないよう、介護事業者を支えていく必要があります。第9期計画の実績評価とあわせて、これらの課題への対応策を検証し、第10期計画の策定に反映します。

高齢者保健福祉計画 目標・指標一覧

基本目標 1 自分に合った生活場所と介護サービスの充実

基本施策 1-1 介護サービスの提供体制の整備

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
特別養護老人ホームの合計定員数	820 床 (新規 100 床)	720 床	820 床 (新規 100 床)	720 床	820 床 (新規 100 床)
認知症高齢者グループホームの合計定員数	224 人 (新規 36 人)	188 人	224 人 (新規 36 人)	188 人	224 人 (新規 36 人)

基本施策 1-2 高齢者の住まいの確保

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
高齢者向け住まいの供給量 (高齢者人口に対する確保割合)	3.1%	931 人 (2.2%)	3.1%	1,118 人 (2.7%)	3.2%

基本施策 1-3 介護サービスの質の確保

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
指定事業者の実地指導実施事業所数	16 事業所	28 事業所	16 事業所	24 事業所	17 事業所
集団指導実施回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
介護サービス相談員の派遣	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人
介護サービス相談員受入れ事業所数	80 事業所	77 事業所	83 事業所	84 事業所	85 事業所
介護サービス相談員の訪問回数(延べ)	672 回	707 回	672 回	809 回	672 回

基本施策 1-4 介護給付の適正化

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
認定審査会委員現任者研修参加者数	25 人	33 人	27 人	45 人	30 人
認定調査員現任者研修参加者数	20 人	10 人	25 人	15 人	30 人
居宅介護支援事業所の 運営指導実施事業所数	7 事業所	12 事業所	7 事業所	9 事業所	7 事業所
ケアプラン点検件数	200 件	237 件	200 件	218 件	200 件
集団指導実施回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
縦覧点検実施率	100%	100%	100%	100%	100%
医療費突合実施率	100%	100%	100%	100%	100%

基本目標 2 安定した日常生活のサポート

基本施策 2-2 介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
多様な主体によるサービスの担い手を養成する 講座受講修了者と事業所とのマッチング	2 回	1 回	2 回	0 回	2 回

基本施策 2-3 医療と介護の連携体制の構築

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
高齢者相談センターが果たしている役割を 「多職種連携マネジメント」と回答した事業者の割合	—	—	25.0%	27.8%	—

基本施策 2-4 認知症施策の推進

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
認知症初期集中支援チームの支援対応終了者のうち 医療・介護サービスにつながった割合	65.0%以上	66.7%	65.0%以上	100%	65.0%以上

基本施策 2-5 高齢者の見守り

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
習志野市 SOS ネットワークにより発見できない 行方不明高齢者の数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

基本施策 2-6 高齢者の権利擁護

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
虐待防止に関する制度等や認知症等の 啓発活動回数	20 回	73 回	20 回	66 回	20 回
消費者被害相談事例等の関係機関への 情報提供の頻度	3 か月毎	1~2 か月毎	3 か月毎	1~2 か月毎	3 か月毎
成年後見制度のまちづくり出前講座の 実施回数	5 回	6 回	5 回	4 回	5 回
成年後見センターによる 法人後見新規受任件数	3 件	0 件	4 件	0 件	5 件

基本施策 2-7 高齢者が利用できる福祉サービス

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
戸口収集支援事業利用者数	増加 (前年度比)	207 人	増加 (前年度比)	205 人 (-2 人)	増加 (前年度比)

基本目標 3 いつまでも元気に暮らせる健康づくり

基本施策 3-1 成人期から取り組む健康づくり

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
小・中学校での健康教育の実施数	17 校	15 校	19 校	15 校	20 校
健康づくり推進員への活動支援回数	40 回	77 回	40 回	64 回	40 回
特定健康診査受診率	39.0%	—	39.5%	38.9%	40.0%
成人高齢者歯科健康診査受診率 (65 歳・70 歳・80 歳)	7.1%	5.6%	7.1%	7.0%	7.1%
1 年以内にがん検診を受けていると 回答した人の割合(一般若年者)	—	—	50.0%	45.7%	—
1 年以内にがん検診を受けていると 回答した人の割合(一般高齢者)	—	—	50.0%	42.2%	—
後期高齢者健康診査受診率	36.0%	37.1%	36.8%	37.8%	37.6%

基本施策 3-2 介護予防・日常生活支援総合事業(一般介護予防事業)

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
リハビリテーション職による 介護予防講座の開催数	20 回	17 回	20 回	22 回	20 回
地域運動習慣自主化事業(まちでフィットネス) 立ち上げ支援団体数	4 団体	2 団体	4 団体	2 団体	4 団体
介護予防教室参加者の合計数	340 人	362 人	340 人	424 人	340 人
介護予防教室参加者のうち 運動習慣化の意識を持っている人の割合	80.0%	95.8%	80.0%	96.5%	80.0%
介護予防教室参加者のうち 生活機能が維持・向上している人の割合	80.0%	65.9%	80.0%	65.9%	80.0%
介護予防教室参加者のうち 終了後に「通いの場」へ参加している割合	70.0%	88.5%	70.0%	86.9%	70.0%

基本目標 4 地域で支え合う仕組みの拡大

基本施策 4-1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
地域テラスを提供する団体数	13 団体	14 団体	13 団体	18 団体	14 団体
住民主体による 通所型サービスを提供する団体数	1 団体	0 団体	1 団体	0 団体	1 団体
住民主体による 訪問型サービスを提供する団体数	1 団体	0 団体	1 団体	0 団体	1 団体
地域ケア推進会議の開催数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回
地域ケア会議(圏域・個別)の開催数	25 回	35 回	25 回	32 回	25 回
地域ケア個別会議のうち 「介護予防自立支援検討会議」の開催数	5 回	1 回	5 回	1 回	5 回
「介護予防自立支援検討会議」における ケアマネジャーの参加率	60.0%	41.7%	60.0%	50.0%	60.0%
講座修了者のうち 緩和基準サービス事業所等へ登録する人の割合	100%	100%	100%	約 73%	100%
講座修了者のうち 多様なサービス提供に携わる人の割合	30.0%	24.1%	30.0%	18.9%	30.0%
認知症サポーター養成講座受講者数	500 人	1,470 人	500 人	1,677 人	500 人
認知症サポーター養成講座実施教育機関数	増加 (前年度比)	6 校	増加 (前年度比)	8 校 (+2 校)	増加 (前年度比)
認知症サポート登録事業所数	100 事業所	95 事業所	105 事業所	96 事業所	110 事業所
高齢者見守り事業者ネットワーク 協定締結事業者数	増加 (前年度比)	54 事業者	増加 (前年度比)	55 事業者 (+1 事業者)	増加 (前年度比)
地域の高齢者の「通いの場」へ 参加していると回答した人の割合	—		55.0%	70.5%	—
ふれあい・いきいきサロン(地域サロン) 設置数	69 か所	50 か所	74 か所	51 か所	79 か所

基本施策 4-2 高齢者の社会参加の促進

指標	R6 目標	R6 実績	R7 目標	R7 実績	R8 目標
シルバー人材センター会員登録数	増または 現状維持 (前年度比)	減少	増または 現状維持 (前年度比)	752 人	増または 現状維持 (前年度比)
あじさいクラブ活動事業 1 単位クラブあたりの会員数	増または 現状維持 (前年度比)	約 39 人	増または 現状維持 (前年度比)	約 38 人 (-1 人)	増または 現状維持 (前年度比)
あじさいクラブ活動事業 各種大会参加者数	増または 現状維持 (前年度比)	428 人	増または 現状維持 (前年度比)	381 人 (-47 人)	増または 現状維持 (前年度比)
高齢者ふれあい元気事業実施率	増加 (前年度比)	73.2%	増加 (前年度比)	72.7% (-0.5 ポイント)	増加 (前年度比)
寿学級 参加者数(延べ)	4,300 人	4,408 人	4,300 人	4,408 人	4,300 人
市民カレッジの 60 歳以上の受講生数	70 人	70 人	70 人	59 人	70 人
総合型地域スポーツクラブ(3 クラブ)の 60 歳以上の会員数	400 人	374 人	400 人	342 人	400 人
スポーツ奨励大会(歩け歩け大会)の 60 歳以上の参加者数	150 人	68 人	150 人	65 人	150 人